

新年度の市政を問う！

代 表

市民の声



国方 功夫

保育士支援策

Q 保育士の負担軽減を図るため実施する保育体制強化事業の具体的内容は。

A 市長 私立保育園や幼保連携型認定こども園において、地域住民や子育て経験者など保育士資格を持たない方が、保育支援者として給食の配膳や後片付け、施設や遊具の清掃などの周辺業務を担い、保育士の負担軽減を図る事業であり、実施する保育園などには人件費の助成を行う。

図書館の民間委託

Q 中央図書館は施設の長寿命化を図るため休館する予定だが、運営方法も民間委託を考える時期ではないのか。

A 教育部長 28年度に図書館の運営形態について図書館協議会に諮問したところ、直営を基本とした上での効率的な運営が望ましいとの答申を得た。今後も現在の運営体制を

基本とした上で、全国の図書館の様々な取り組みを参考にしながら効率的な運営を行い、より一層のサービス向上に努めたい。

マイナンバーカード推進

Q 個人番号(マイナンバー)カードの普及が進んでいない。

A 個人番号カードの普及を進めているし、これからはカードの利用で様々な手続きが簡略化され、職員数の削減にもつながる。まずは市の職員自らが率先してカード交付申請を行うべきではないのか。

生活環境部長 個人番号カード

Q 個人番号カードの交付を申請するかどうかは個人の選択だが、本市でもコンビニ交付サービスを予定しており、カードの普及を進める中、職員がカードを使用して利便性を実感し、PRするとは重要であると考えている。今後、カードの申請を職員に呼びかけ、普及率の向上に努める。

公明党



内田 俊英

市民に親しまれる美術館

Q 猪熊弦一郎現代美術館は改修のため長期休館する予定だが、これを機にもっと市民に親しまれる美術館となるよう運営も見直すべきでは。

A 産業文化部長 これまで優れた現代美術を市民にわかりやすく伝えていくという取り組みが不十分であった。市民の税金で運営する美術館であるということに改めて認識し、市民が気軽に訪れる場となることを目指したい。

リノベーションまちづくり

Q 丸亀駅北側は非常に素晴らしい立地だが、まちづくりから忘れられているように感じられる。リノベーションまちづくりにおいてこのエリアを再生させるビジョンを示してほしい。

A 都市整備部長 リノベーションまちづくり検討会議においても、駅北のポテンシャル

をどう生かしていくのかという議論が多く出ている。今秋の完成を予定しているリノベーションまちづくりの手引において、この地域に適したリノベーション事業の進め方や目指す方向を示したい。

幼保一体化

Q 家庭力、地域力、人間力が失われている中、小学校に上がるまでの子供が生きる力を身につけるためには、保育と幼稚園教育を一体にするべきではないか。

A 教育長 本市では、統一した考えのもと教育・保育が展開されるよう、丸亀げんきっ子夢プランを策定し、日々の教育や保育を行っている。組織としては保育所、幼稚園、こども園を幼保運営課で掌握し、学校教育課と連携して環境整備や教職員間の交流などを行い、一貫した子供たちの育成が効果的に行っていると考えている。

代表質問

総括質疑

11人の議員が市の考えを問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載



丸亀の歴史を彩った人々を後世に伝える仕掛け④離島医療における民間活力を使った地域包括ケアシステム⑤東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンへ丸亀の取り組み

議会を見に来ませんか

本市議会では、定例会が3月、6月、9月、12月の年4回開催され、本会議は通常午前10時に開会します。

会議の当日、手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局へ

(TEL 24-8828)

次回の定例会は6月上旬に開会予定です。

空港民営化を機会に 特産品PRを

武田議員 4月に高松空港が民営化され、国際線の新路線誘致や空港ビル内の商業スペースのリニューアルが計画されている。この機会に地域商社を通じて空港内の物販店に参入し、地場産品のPRを行い、販路拡大につなげてはどうか。

産業文化部長 空港ビル内に瀬戸内ブランド物販店やフードコート設置の案が示されており、実現すれば県産品の知名度向上、販路拡大に大きく寄与す

高齢者の就労機会 拡大の取り組み

と考えられ、本市も積極的に活用したい。本市に設立された地域商社は、首都圏などへの特産品販路拡大を主な業務とするが、空港内物販店の出店も視野に入れ、効果的な方策を検討したい。また、現在空港内で行っている物産品や観光資源のPR展示も、空港拡張にあわせて手法をさらに検討したい。

真鍋議員 少子高齢化が進む中、多様な経験、技術を持つ高齢者に社会の担い手になって

武田 孝三

- ① 仮想百貨店「丸亀百貨店」の未来② 高松空港民営化に伴う丸亀市地域商社を通じたPR③ 公共施設等総合管理計画④ 公共施設の一元管理、窓口の一元化の推進

真鍋 順穂

- ① 危機管理体制の強化② 高齢社会対策③ 主食用米の生産調整見直し後における本市独自の農業政策

川田 匡文

- ① 安心して暮らせるまちづくり② 活力みなぎるまち

松浦 正武

- ① 耕作放棄地再生対策事業② 食育ネットワーク③ 交通対策

香川 勝

- ① 心豊かな子どもが育つまち② 中央図書館の長寿命化工事③ ヴィリッヒ市との友好都市提携④ ポートレース丸亀

水本 徹雄

- ① 本市におけるふるさと納税の今後の展望② 不要となった学用品の再利用③ 丸亀市民球場の来場者数増加に向けた取り組み

横田 隼人

- ① 特殊勤務手当② 職員人件費③ 職員数

大西 浩

- ① 教育の充実② 保育体制強化事業③ 環境基本計画推進④ 情報化社会でのIT戦略

横川 重行

- ① 保育問題② 空き家対策③ 市道や水路・下水施設の整備計画④ 農業振興等⑤ 小学校の英語教育⑥ ゼロ予算事業の取り組み

中谷真裕美

- ① 国民健康保険制度と健康増進② ごみ収集業務

神田 泰孝

- ① 児童虐待防止② クリーン課作業車(パッカー車)火災の対策③

らうことは、高齢者の生きがいづくり、所得の安定のためにも重要だと考える。高齢になっても働けるように再就職や起業、職場以外で働くテレワークを促す仕組みの創設について、見解を伺う。

A 市長 現在、高齢者の就業対策に特化した施策ではないが、市内で創業を目指す方への支援やテレワークなどによる職場環境改善を行う企業に対する補助を実施している。特にテレワークは高齢者のみならず幅広い世代の就業機会の拡大、社会参加につながると考えている。今後、高齢者の就業機会の拡大に向け、事業者への支援のあり方などの検討を重ねたい。

密集市街地 急ぐ防災対策

Q 川田議員 現在、県内で唯一、国土交通省より御供所町地区が地震時などに著しく危険な密集市街地であると指定されている。この状況を改善するために、都市計画として、地区内道路やその他防災施設などの計画立案と、地元への説明会などの



地域の避難場所となる東汐入川けんこう公園

開催を行う考えは。

A 都市整備部長 当該地区は現在、公園整備などで地域の状況も変化しており、国においても新たな支援制度が創設された。

今後は、充実が図られた国の支援制度の活用を視野に、実現可能な事業計画案を検討の上、詳細な現況調査を実施し、地区内道路など、具体的な計画の立案に着手したい。また、計画立案の過程で地元説明会開催など、事業を進める上で重要な手続きや住民周知を、8月をめどに行い、地元の意向も反映したい。

コミュニティバス

利便性向上へ

Q 松浦議員 バス・ロケーション

ン・システムを来年度導入することで、市民はどういった恩恵を受けるのか。また、その周知はどうするのか。

A 市長 サービス開始によって、道路渋滞などで時刻どおりの運行ができていない状況を情報提供することができ、利用者の不安や待ち時間の解消となると考える。また、丸亀駅バス停に運行状況案内を表示する電子看板を設置することで、JRからの乗り継ぎをスムーズにし、市民や観光客の利用促進につなげる。

今後は、システム導入を広報紙やバス車内、バス停などで周知するとともに、次回の時刻表改正時にはQRコードを表示することで、より多くの方々が利用できるように努める。

男女共同参画で 心豊かな子供を

Q 香川議員 男性が積極的に家事に関わる意識を持つことが、明るい家庭を築き、市政方針にも示されている心豊かな子供を育てることにつながると考える。こども未来計画の中に、男

女共同参画を進めるソフト面の施策を取り入れてはどうか。

A こども未来部長 こども未来計画において、ワーク・ライフ・バランスの推進や男性の子育て参加の促進が掲げられており、それぞれの取り組みを各担当部局において行うこととしている。本市では、男性の料理教室や父親の子育て講座など、男性の積極的な家事や育児への参加を後押しするソフト施策に取り組んでいる。

今後もこども未来計画に記載された各種施策の実施に当たっては、男女共同参画の考え方を踏まえて進めたい。

レクザムBP丸亀 市民に親しまれる施設に

Q 水本議員 3月より丸亀市民球場の愛称がレクザムボールパーク丸亀となった。球場オープン以来着実に来場者数を伸ばしているが、さらに来場者数を伸ばすための取り組み、野球以外にも市民に親しまれる球場にしていくための取り組みについて、考えを伺う。

A 生活環境部長 県内屈指の野



新しい愛称はレクザムボールパーク丸亀

球場として、これまでグラウンド、屋内練習場とも高い稼働率でご利用いただいている。今後、も野球場として高いクオリティを維持しつつ、来場者数を増やすために、プロ野球など大きなイベントの開催誘致に取り組む。また、市民に親しまれる球場とするために、親子でピクニックなどを楽しめる芝生広場の利用促進、地域団体や民間企業などと連携したイベントの開催などの取り組みを進めたい。

特殊勤務手当

さらなる見直しは

◎横田議員 今回、職員の特

勤務手当のうち清掃作業手当の2割減額が提案されている。この減額は本当に妥当なものと考えているのか。消防業務手当や保育士などへ支給する福祉業務手当が清掃作業手当と比べるとかなり低いことや、同じ作業に当たる臨時職員には清掃作業手当が支給されないことを考えると、もつと踏み込んだ減額が必要ではないのか。

◎市長公室長 交通遮断してない路上作業の危険性などを考えると、清掃作業手当の支給は必要と考えており、県内各市の支給額を参考に、組合と交渉を重ねて2割減という提案をするものである。本市が条例で定めるほかの特殊勤務手当との差など様々な意見があることは承知しているが、協議を重ねた末の提案である。

待機児童解消へ

保育士支援策は

◎大西議員 待機児童解消の最

大の課題は保育士確保であり、保育士の処遇改善、働き方改革が求められる。保育士確保の現状、保育士への支援策について

伺う。

◎市長 本市では1クラス最低1人の正規職員の配置を目指し、計画の範囲内で保育士の採用に努めているが、すべてのクラスを正規職員で担任することはできていない。保育士不足の要因として、業務に見合う所得が得られず、資格を持っていても保育職に就かない方が多いことが考えられる。市では、国が創設した保育体制強化事業を活用するほか、私立園に勤務する保育士の賃金に一律30000円の上乗せを行う独自の補助金制度を創設し、保育士の処遇改善を行うことで待機児童解消に向けて保育士確保に努めたい。



待機児童解消に向け保育士確保を

英語教育

充実の取り組み

◎横川議員 平成32年度からの小学5・6年生の英語学習教科化に向け、これまでの英語教育の経過を踏まえた上での今後の取り組みについて伺う。

◎教育長 これまで児童が外国語でコミュニケーションを図る楽しさを体験できるように学習を進めてきた。リスニング能力の向上に成果があった一方、自己表現が苦手な児童の主体的取り組みが難しいという課題もある。今後、楽しくコミュニケーション能力を高める学習方法について、更に研究を進めるとともに、研修の充実により教員の指導力向上に努めながら、1名増員する外国語指導助手を効果的に活用し、児童の外国語によるコミュニケーション能力を育成する体制づくりを進めたい。

ペナルティ廃止の財源で

インフルエンザ予防接種

補助を

◎中谷議員 新年度から国によ